

学術越境による社会実装をめざした心理学研究

2024年12月09日（月）10-12時 @人間・環境学研究科棟 433演習室（4階）



企業研究では「数万人規模の心理データ収集」や「サービス介入を通じた行動変容の研究」が可能です。サービス事業会社2社の、そのような企業研究をご紹介します、産学による新たな研究の可能性を議論したい。また、ミイダス社 HRサイエンス研究所は、学振指定機関でもあり、心理学の専門性を活かした新たなキャリアパスを模索しています。教員の方々、若手研究者、大学院生のご参加をお待ちしています！



プログラム

1. オープニングリマーク 5分：鹿内学@シンギュレイト社
2. **ミイダス社 | 心理学 x 情報学 50分（10分、20分、20分）**
 1. ミイダス 紹介 | 神長伸幸（HRサイエンス研究所 所長）
 2. 学術越境プログラム | 吉 西 妍（人環・大学院生）
 3. 働く中での制御焦点理論 | 山田裕生（研究員）
3. **シンギュレイト社 | 行動科学 x 情報学 40分（10分、30分）**
 1. シンギュレイト紹介 | 鹿内学
 2. 企業の1on1における対話の行動分析 | 植野剛
4. **自由討議 25分**
 1. 上記の研究について
 2. 基礎研究機関・企業研究所での研究内容・あり方
 3. 大学院生や若手研究者のキャリアパスなど



2020年 ミイダスHRサイエンス研究所 創設。心理学と情報学を両輪とするため、各分野の大学教員経験者や博士号取得者が在籍。今回の人環の学術越境プログラムでの大学院生受入れ企業でもある。本研究会では、学術越境プログラムとして、実施している応用研究を紹介する。基礎研究で知られた認知バイアスが、人材評価を想定した状況でおこることの検証を目指す。企業研究として制御焦点理論について、労働状況を想定した心理的アセスメントの開発や職種特性を調べた研究を紹介する。



2016年設立、2019年事業本格化。創業者の鹿内は、京大医学研究科・情報学研究科の教員・研究員として、認知神経科学の研究に従事。シンギュレイト社は、働いている人たちを対象にしたサービスを提供し、「信頼」をコンセプトに、イノベーションを目指した組織文化の開発に挑む。本研究会では、多くの企業が実施する「1on1」と呼ばれる対話行動に注目し、実際に社内でおこなわれたデータを分析し、行動変容をうながすサービスの研究結果を報告する。